

第3回議員定数調査特別委員会 要点記録

○開会及び閉会

令和8年8月10日 10時58分～11時50分

○出席委員の氏名

難波 修二	向山 博	佐々木雄三	北山 正一	淀谷 融
赤石 勝子	柳谷 要	永井 浩	熊谷 雅幸	

○欠席委員の氏名

金安 英照

○出席した事務局職員

事務局長	津村 智之	庶務係長	及川 拓真
------	-------	------	-------

○協議事項

①議員定数について

○その他

①第4回特別委員会

○難波委員長

- ・開会挨拶
- ・協議事項に入る前に追加資料等について事務局から説明願う。

○津村局長

- ・参考資料8及び参考資料9について説明

○難波委員長

- ・追加資料の議員報酬等についても参考としていただきたい。
- ・これまで色んな角度からいろんな資料を見ながら話を進めてきた。それらを踏まえそれぞれの考えを伺う。
- ・前提としては定数の変更は毎回変えるというものでないような気がする。4年後も見据え改定するとすれば何期か後もそれでいくという前提の想定をしていく必要があると思う。
- ・お一人ずつ聞いていきたい。

○熊谷委員

- ・結論的に私は 9 名ということで示させていただく。
- ・地方議会に対しての見方が非常に厳しい。道議会に対しても定数が多いとの意見も出てる。
- ・20 年間 10 名でやってきたが今後なり手不足の解消が中々困難。人口 4000 人台の他町村の主流は 10 名だが今後 8 名位になっていく可能性も十分にある。
- ・その中で一早く結論を出し皆で切磋琢磨しながら議会活動をするべきと思う。
- ・これまで様々な活動をしているが我々の議会活動も十分町民に知れ渡っていないという反省もしてる。今後の議会活動も更に力を入れていかなければならない。
- ・前回の改正時から人口も 1300 人ほど減っている。現状では 9 名で十分やっていけるという気がする。

○柳谷委員

- ・基本的に現状維持を続けるべきと思う。
- ・定数の問題は、どのような活動をするのかということに深く関わってくる。
- ・我々の活動はまだまだ反省し努力しなければならないことがたくさんある。
- ・町の民主主義をどうするのか考えると議員を減らすのは時期早尚だと思う。

○北山委員

- ・現状維持あるいは 1 名減の 9 名かなと思っている。
- ・他町村に比べると蘭越町の人口減は少し緩やかではないかと思う。
- ・ここ 10 年以上は選挙戦になっており無投票がない状態が続いてる。立候補者は必ず出てくるのかなと思う。

○佐々木委員

- ・結論から言うと現状だと 10 人維持の考えを持っている。
- ・9 名に減らすのは簡単だと思うが、減らすことによりそれぞれの議員の業務負担が少なからず増えるのかなという気もしている。
- ・住民からの声としては人口比や他町村との比較で 9 名に減らした方が良いと言うのかなとは思う。減らせば住民理解は得ると思うが、議会が機能する適正な数としては現状 10 名かなという思いはある。来期中に更に検討していくべきと思う。

○淀谷委員

- ・現状の 10 人が良いと考えている。
- ・町民から意見を聞いたが減らすべきと現状維持が五分五分だった。
- ・担い手不足ということもあるが定数減らせば良いということだけでなく、いかになり手である若い人や女性の方が議会に関心を持っていただき立候補していただけるような環境作りが一番必要と思う。

- ・我々もいろいろと議会改革はやってきてると思う。
- ・人口減少というのはあるが資料を見ると人口 4000 人台で大体定数 10 名で町民一人当たり 430 人位。4000 台であれば今の 10 人がベースだと思う。
- ・我々議員は行政を監視するという機能を持っていかなければならないが減っていくと出来なくなると感じる。
- ・ある程度の議員定数で議員活動をもっと活発にしていけることが必要と思う。定数より議員改革活動を大きくしていくべきと思っている。
- ・将来的に人口が 3000 人台とかになってきた時点で議員定数の減ということを考えたかどうかと思う。
- ・なり手不足と言われるが、今の現状ではいろいろ出てくる方もいるので、もう少し様子を見ながら検討するべきと思っている。

○向山副委員長

- ・基本は今のままが良いと思う。
- ・今は地域のバランスが良くない。基本は町民の意見を吸い上げることが必要であり定数を削減することにより更にバランスが悪くなると思う。
- ・4000 人を超えてるので 10 名で多いということにもならない。
- ・基本なり手不足の解消は定数云々じゃないと思う。報酬の面もあるだろうし本当に議員だけで生活が成り立つようでないとな若い方も出れない。基本なり手不足の解消を考えると定数の問題じゃないと思う。

○赤石委員

- ・現状維持が一番良いと思うが 1 減ぐらいにしていかなければならい時期が来てると感じている。
- ・他の町村を見ても人口 4000 人台では 10 人、11 人になっており本町もその状況から現状の 10 名が妥当だと思うが、いろいろ周りの声を聞くと、なかなか手がいけないのが実情。
- ・若い方が手を挙げて蘭越町のこれからを見据えて議員になるという声があれば一番良いことだと思うが、実情を見ると本当に地元根付いた若い人方が手を挙げて議員になって蘭越町のためにという声がなかなかない。
- ・若い人や女性がたくさん出て、これからのまちづくりに対して一生懸命やっていこうという声があれば定数 10 名の現状維持でという考えもあるが、周りの声を聞くと 1 減ぐらいにという声もある。

○永井委員

- ・できることなら 10 名でやりたいが将来的におそらく人口は減ると思う。すごく残念ではあるが、蘭越町は 37 年前と比較すると半分となってる。そういうことを考えると大ナタか小ナタかわからないが振る必要があるのかなと思う。

- 定数減により町民の意見を吸い上げる議員が少なくなるというのはマイナスだがこのご時世、現状維持は大変と思う。
- 道内の議員定数の資料から人口 4000 人台だと大体議員 1 人当たり町民 400 人から 450 人。蘭越で 9 名にした場合は人口比で 483 人になる。人口の多い倶知安町を見ると議員 1 人当たり 906 人。それから考えると少なくせざるを得ないのかなと思っている。
- 町の政治に興味を持ってくれてる適任と思う人が中々手を挙げない。そうでない人が手を挙げてくるようだと議会が議会でなくなるような気がする。

○難波委員長

- 9 名ということで提案をしたい。少なくとも 9 名にするべきだという考え。その代わり日常の議員活動にもっと力を入れていかなければ駄目だと考えてる。
- それぞれ自分の出处進退をどうするかということで次の選挙に臨むということだと思う。そういう中で、どう考えるべきかと思う。仮に来期頑張っても、その次にはもっと大人数が入れ替わる。そのような時にどのようなことが起こるか考えておくべきと思う。
- 我々がやらなければならないことはたくさんある。できれば現状通りの 10 名でということはその通りだと思う。その中で来年の選挙でどのようになっていくのか町民の方にとって良いことなのか非常に考えらざるを得ない。更に 4 年後どうなるか、もっと大変な状況が生まれるのではないかと頭から離れない。
- 日常の議会の様子を町民に伝える努力をもっとしていかなければならないと思う。町民の人と接する機会を増やして何か声があれば吸い上げるとのこと。1 人 1 人の議員活動にもっと力を入れてくということが担い手作りに繋がっていくものと思う。
- 定数は削り、その上で我々ももっと努力していこうというふうにならなくてはいけないのかなと思う。
- 9 名になっても大変なことになるということは決してないと思う。我々の日常活動を努力していけば町民の皆さんの見る目も変わっていくだろうと思う。

○難波委員長

- 今日は金安委員が欠席してる。次回にもう 1 度皆さんの意思を確認し、現実的な判断をすることにし今日は結論は出さないこととしたいがよろしいか。
(全員了承)
- 第 4 回の日程を 8 月 21 日 15 時からの山麓研修前に研修会場である町民センターで 13 時開催の予定ということとしたい。
(全員了承)